

東金子地区 施設配置（案）及び地区懇談会意見一覧

青少年活動センター

- ・当面機能維持、耐用年数に応じて廃止を検討

東金子学童保育室

- ・東金子小学校の整備に合わせて複合化

東金子小学校

- ・東金子小学校を活用
- ・複合施設として整備

東金子保育所

- ・東金子保育所を活用

新久小学校

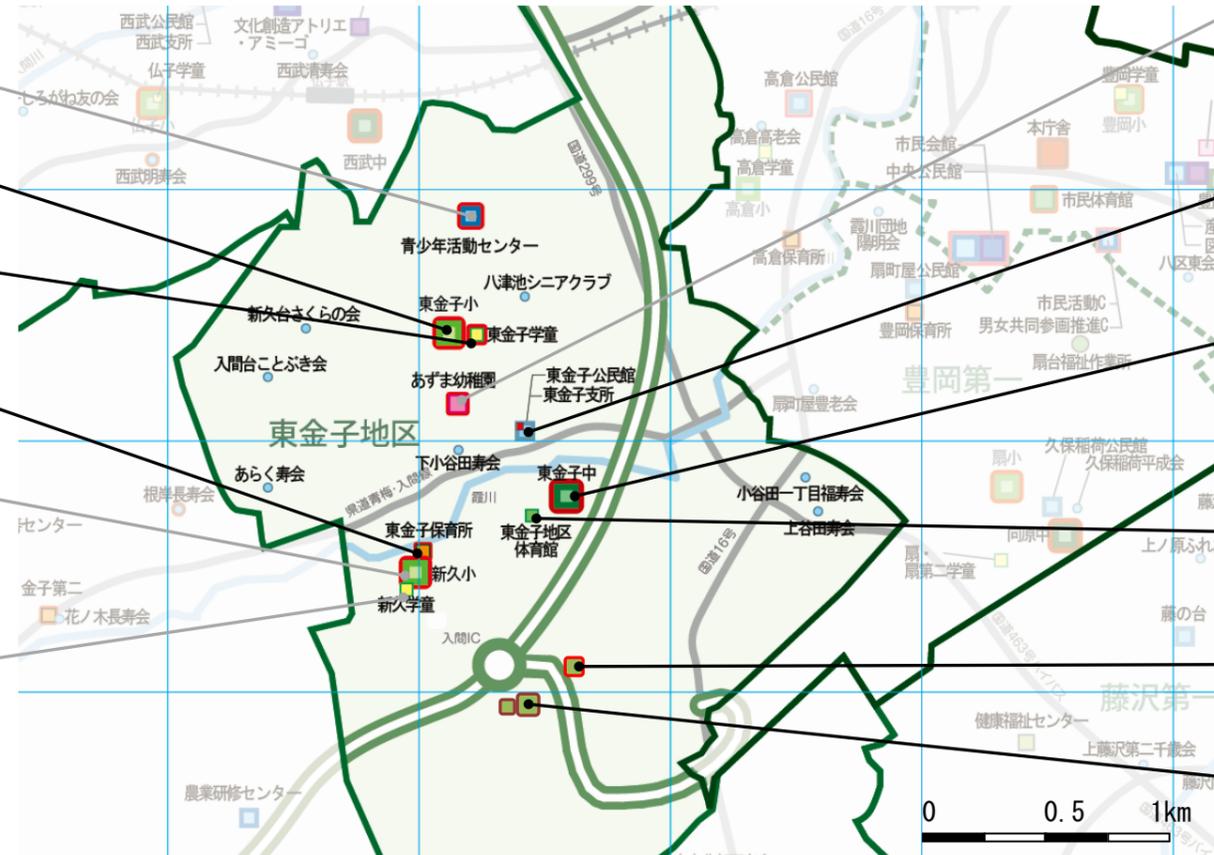
- ・東金子小学校へ統合
- ・施設は廃止
- ・跡地利用を検討

新久学童保育室

- ・東金子小学校の整備に合わせて複合化
- ・施設は廃止

老人憩いの家

- ・利用状況を踏まえ現状維持、譲渡や除却も検討



あずま幼稚園

- ・平成30年度で閉園
- ・施設は廃止
- ・跡地利用を検討

東金子公民館・支所

- ・東金子公民館・支所を活用して地区センター化

東金子中学校

- ・東金子中学校を活用

東金子地区体育館

- ・機能維持、長寿命化

学校給食センター

- ・現地での建替えのほか、移転しての建替えも検討

総合クリーンセンター・リサイクルプラザ

- ・機能維持、長寿命化

施設の再整備に伴う課題

〔地域に関すること〕

- ・交通の便が悪いため、交通手段を検討する必要がある。

〔施設に関すること〕

○地区センター

- ・公民館の稼働率が低いのは、施設機能の陳腐化が要因ではないか。地区センター化に向けて機能の見直しの検討を要する。
- ・和室は使い勝手が悪いので見直しを検討する必要がある。
- ・地区センター化に向けては、駐車場を拡大する必要がある。

○小学校・学童保育室・中学校

- ・学校を統廃合する場合は、避難所を確保する視点からの検討も必要である。
- ・小学校の統合をする場合は、児童の通学手段への配慮が必要である。
(新久小学区の南端である狭山ヶ原から東金子小までの距離は約2.3kmとなる)
- ・自治会と学区の不一致について検討をする必要がある。

○保育所

- ・保育時間の延長など運営形態の見直しを検討する必要がある。

○老人憩いの家

- ・高齢者の身近なところに居場所や集える場を確保するなど、高齢者が外出する機会が減少してしまわないよう配慮する必要がある。

施設の再整備に向けた提案

- ・市街化調整区域については、市街化区域への編入を検討すべきではないか。
- ・住民同士が公共施設の有効活用について話し合う機会があると良い。
- ・施設ということではないが、加治丘陵や霞川沿いなどを一連のウォーキングコースとして整備すれば利用が増えるのではないか。
- ・市民の多くは公共施設の存在やイベントのことを良く知らないと思う。施設の利用率向上のためには上手にアピールをしていくことが大切である。
- ・施設の再整備を検討するときは、候補地を現在の場所に限定せず、適切な場所を探す検討が必要ではないか。学校の再整備を行う際は、学校用地を順番に使うことを検討しても良い。
- ・地区体育館があるところに小学校を配置して小学校と中学校を隣接させ、新久小学校に地区センターを配置し、東金子小学校を地区体育館とするなど、複数の施設間を移転しながら上手に活用して行くことも検討してはどうか。
- ・体育施設をより有効に活用するためには、整備する際に、多目的に活用できるよう仕様を良く検討する必要がある。
- ・公共施設の跡地利用については事前によく検討をしておくべきである。建物を放置しておくことで傷んでしまい、グラウンドも使用していないと雑草が生えてしまうなど、転用をする際に余計な費用がかかってしまうので注意が必要である。
- ・公共施設を廃止したとしても、将来必要になることが予測されるので安易な売却は控えた方が良い。
- ・小学校同士の交流があれば、統合しなくても教育環境は悪化しないのではないか。

各施設の整備パターン（案）

施設名		整備パターン（案）
地区センター	東金子公民館・支所	・東金子公民館・支所を活用して地区センター化。
小学校	東金子小学校	・東金子小学校を活用。複合施設として整備。
	新久小学校	・東金子小学校へ統合。施設は廃止。跡地利用を検討。
学童保育室	東金子学童保育室	・2つの学童保育室を1つに統合。 ・東金子小学校の整備に合わせて東金子小学校に複合化
	新久学童保育室	
中学校	東金子中学校	・東金子中学校を活用。
保育所	東金子保育所	・東金子保育所を活用。
幼稚園	あずま幼稚園	・平成30年度で閉園。施設は廃止。跡地利用を検討。
地区体育館	東金子地区体育館	・機能維持、長寿命化。
老人憩いの家	新久もみじ会	・利用状況を踏まえ現状維持、自治会への譲渡や除却も検討。
	下小谷田寿会	
	八津池シニアクラブ	
	入間台ことぶき会	
	上小谷田寿会	
	新久台さくらの会	
	小谷田一丁目福寿会	
総合クリーンセンター	・機能維持、長寿命化。	
リサイクルプラザ		
青少年活動センター	・当面機能を維持、耐用年数に応じて廃止を検討。	
学校給食センター	・現地での建替えのほか、移転しての建替えも検討。	

各施設の概要

施設名		延床面積	建築年度	築年数	構造	土地所有
地区センター	東金子公民館・支所	1,356 m ²	1984（昭和59）年	33年	RC造	市・個人
小学校	東金子小学校	6,157 m ²	1968（昭和43）年	49年	RC造	市
	新久小学校	5,912 m ²	1980（昭和55）年	37年	RC造	市
学童保育室	東金子学童保育室	166 m ²	1981（昭和56）年	36年	S造	市
	新久学童保育室	123 m ²	1980（昭和55）年	37年	RC造	市
中学校	東金子中学校	6,825 m ²	1982（昭和57）年	35年	RC造	市
保育所	東金子保育所	530 m ²	1973（昭和48）年	44年	RC造	市
幼稚園	あずま幼稚園	342 m ²	1967（昭和42）年	50年	RC造	市（一部借地）
地区体育館	東金子地区体育館	1,273 m ²	1987（昭和62）年	30年	S造	市
老人憩いの家	新久もみじ会	77 m ²	1984（昭和59）年	33年	木造	市
	下小谷田寿会	83 m ²	1986（昭和61）年	31年	木造	個人
	八津池シニアクラブ	83 m ²	1987（昭和62）年	30年	木造	市
	入間台ことぶき会	83 m ²	1987（昭和62）年	29年	木造	市
	上小谷田寿会	83 m ²	1988（昭和63）年	29年	木造	市
	新久台さくらの会	82 m ²	1990（平成2）年	27年	木造	市
	小谷田一丁目福寿会	88 m ²	1997（平成9）年	20年	木造	市
総合クリーンセンター	8,697 m ²	1995（平成7）年	22年	SRC造	市	
リサイクルプラザ	2,426 m ²	1998（平成10）年	19年	S造	市	
青少年活動センター	2,580 m ²	1969（昭和44）年	48年	RC造	市	
学校給食センター	2,043 m ²	1979（昭和54）年	38年	S造	市	